

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	8月9日(火)	長崎県	遊漁船	運航不能
	8月9日(火)	大分県	プレジャーボート	乗場
	8月12日(金)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	8月13日(土)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	8月13日(土)	福岡県	プレジャーボート	浸水
	8月13日(土)	福岡県	プレジャーボート	乗場
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	8月8日(月)	長崎県	マリレに伴う海浜事故	溺水
	8月9日(火)	大分県	マリレに伴う海浜事故	帰還不能
	8月9日(火)	大分県	マリレに伴う海浜事故	帰還不能
	8月7日(日)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	溺水
	8月10日(水)	長崎県	マリレに伴う海浜事故	負傷
	8月13日(土)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	溺水

## SUP中の事故発生！

### 【事故事例】

令和4年8月9日07:00頃、事故者2名は釣り目的でSUP(スタンドアップパドルボード)一艇に乗り出港、沿岸で釣りをしながら進むも、なかなか釣果を得られなかったことから、潮の流れが強い所なら釣れるだろうと思い、更に進出した結果、同日09:00頃、潮流の影響により身動きが取れなくなったまま、付近の砂浜に流れ着き出港地へ帰港出来なくなり、海上保安庁(118番)に救助を求めたもの。

事故者は、本海難海域でのSUPは初めてであったにも関わらず、海域の地域特性等を調べることなく出港していた。また、事故者の内1名は、救命胴衣を着用しておらず、1名はSUPには適さない膨張式救命胴衣を着用していた。

### 【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場  
安全対策調整官 川部  
TEL: 093-321-2931 (内線2640)



### ◆SUPを安全に楽しむために

#### ・救命胴衣は必ず着用しましょう。

SUPは、海(水)に近いスポーツで海中転落や転覆することが前提とされています。救命胴衣は必ず着用しましょう。

また、膨張式救命胴衣は万一の海中転落等のために作られたものであり、SUPやカヌー等には向いていません。用途にあった救命胴衣を着用しましょう。



#### ・気象・海象を確認しましょう。

SUPは風や潮流の影響により帰還不能となる事故が増加傾向にあります。海に出る前に気象・海象を必ず確認しましょう。

また、実際の海上では思った以上に荒天の場合があります。多少なりとも不安を感じるような状況であれば出艇は中止しましょう。



#### ・海域特性を確認しましょう。

地形が複雑な場所(岩礁や小島の近く)や島と島との間は潮流が複雑で速くなります。事前に航行予定海域の状況を調査し、現場でも潮流の状況を観察し、無理のない行動を心がけましょう。

また、地元経験者等と一緒に行動すると安心です。



SUPの安全運航に関する詳しい情報については、ウォーターセーフティガイド(SUP編)をご覧ください。

